

環境省 生物多様性センター設立10周年記念 生物多様性ってなんだろう ～五感で感じる日本の自然～

平成10年(1998)4月9日、生物多様性センターは、日本の生物多様性の保全を積極的に推進し、世界の生物多様性の保全に貢献するための拠点として設立されました。10年を区切りとし、改めてみなさんと「生物多様性」について考えるイベントを開催いたします。自然環境や生きものことはちょっと…という方でも楽しんでいただけるよう、様々な催しを準備しました。どうぞお気軽にお越しください。



◎日時

平成20年6月1日(日曜日) 10:00～16:30

◎参加について

参加は無料、一部のプログラムをのぞき申込みは必要ありません。

詳しくはホームページをごらんください。

<http://www.biodic.go.jp/10th-event/>



第一会場(河口湖ステラシアター)

●講演会「ヤマネに恋して」

13:10～14:00

講師：湊秋作やまねミュージアム館長

●座談会「何が起こるか分からない・・・

団塊の世代、自然を語り、自然を奏でる」

14:10～15:00

動物学者 千石正一

ミジンコ研究者 坂田明

音楽家 佐藤允彦

アロマセラピスト 大橋マキ

●コンサート「自然の音でジャズしてみよう」

15:10～16:15

ピアノ 佐藤允彦

アルトサクソフ&クラリネット 坂田明

ベース 加藤真一



第二会場(生物多様性センター)

10:00～16:00

●青空学校(要予約)

講師

土屋公幸(哺乳類)

箕輪義隆(鳥類)

岸本年郎(昆虫類)

千石正一(動物全般)



●いきもの観察

山梨県に生息する小型野生動物の生きた姿をごらんになれます。

●写真展

日本の自然写真を展示します。

●アートする自然(要予約)

親子で楽しみながら鳥の絵に色づけしてみませんか？
できあがった絵と実物写真をお持ち帰りいただけます。

◎問い合わせ

イベントについて

主催：環境省生物多様性センター

電話：0555-72-6033

e-mail：event@biodic.go.jp

プログラムの内容についての質問や

青空学校等の申し込みについて

企画・運営：(財)自然環境研究センター

電話：03-5824-0971

e-mail：biodic-event@jwrc.or.jp



環境省

Ministry of the Environment

生物多様性センター

後援：山梨県 富士吉田市 富士河口湖町
協賛：富士急行株式会社

「6月は環境月間です」

- ・当日は河口湖駅から無料送迎バスを運行いたします。
- ・バスルートに関しては5月中旬にホームページでお知らせします。
- ・当日は、Mt.富士ヒルクライムの開催も予定されています。
- ・時間に余裕をもってお出かけください。



講演会

講師：湊 秋作 (みなとしゅうさく)

財団法人キープ協会やまねミュージアム館長



1953年和歌山県出身。都留文科大学初等教育学科卒業後、兵庫教育大学学校教育研究科修士課程修了。京都大学で理学博士の学位を取得。24年間にわたり和歌山県で小学校教諭として環境教育の開発と実践を行った後、現職。ヤマネの総合的な研究とその保護および森林保全の具体策の研究や、環境教育と原体験教育の開発、湿地の保全と利用をライフワークとしている。著書に、「ヤマネ」(いちい書房)、「やまねは ねぼすけ?」(福音館)、共著に「あそび事典」(農文協)などがある。

座談会

千石正一 (せんごくしゅういち)



(財)自然環境研究センター研究主幹。動物の世界を研究・紹介することに尽力し、自然環境保全の大切さを訴える。図鑑、学術論文などの幅広い執筆活動のかたわらテレビなどにも出演し活躍中。著書に「いのちはみんなつながっているー西表生態学」(朝日新聞社)「こっちみんなよ!」(集英社)「最後のゾウガメを探しに」(丸善)、「世界のネコの世界」(海竜社)など

坂田 明 (さかたあきら)



1945年広島県呉市出身。ミュージシャン(アルトサクソフーン、クラリネット、時々タム)。1969年、東京でグループ『細胞分裂』を結成、1972年、山下洋輔トリオに参加、1979年末まで在籍する。1980年、自己のトリオを

結成、以来、様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を目指す。内外のミュージシャンとの交流も活発で、2005年春には、ジム・オルークとの共同プロジェクトをスタート、『およばれ/テトロドトキシン』(2005年)、『かなしい/explosion』(2006年)などを制作、最新作はジム・オルーク、Yoshimioとのライブを記録した『ハ行』(2008年2月発表)。また、日本チェルノブイリ連帯基金のために作ったCD『ひまわり』(2006年)、「おむすび」(2008年)の二作も話題を集めている。



佐藤允彦 (さとうまさひこ)



1941年東京都出身。ジャズピアニスト、作曲家。慶応義塾大学卒業後、米国バークリー音楽院に留学、作・編曲を学ぶ。帰国後は数多くのアルバム制作に携わり、国際的にも高い評価を得ている。また、ベルリン、ドナウエッシンゲン、メルス、モントルーなどのジャズ・フェスティバルへも出演し、国内に止まらない広範な活動は常に注目を集めている。テレビ番組、映画、コマーシャルの分野でも活躍。1993年、日本武道館に千人の僧侶を集めて開催した声明コンサート“千僧音 曼荼羅ーBUDDHIST MUSIC with 1000 Shomyo Voices”において、作・編曲、音楽監督を担当。1997年には自己のプロデュース・レーベル〈BAJ Records〉を創設、その活躍はますます多面化するばかりである。

大橋マキ (おおはしまき)



アナウンサーを退職後、英国に留学、植物療法を学ぶ。美しい自然のなかで香への造詣を深め、英国IFA認定アロマセラピスト資格を取得。現在はアロマセラピストとして病院で活動するほか、執筆、翻訳、TVやラジオ番組のナビゲーターなどにも活動の幅を広げている。著書に「アロマの惑星」(木楽舎)「日々香日」(サンマーク出版)など。

コンサート

佐藤允彦
坂田 明

加藤真一 (かとうしんいち)



北海道出身。アン・スクール・オブ・ミュージック特待生で卒業。鈴木淳、藤沢光雄(札幌交響楽団首席)に師事。1985年猪俣猛トリオに抜擢され上京。2002年、富樫雅彦(JJspirits)参加。佐藤允彦とTijo CABEZA 結成。2005年佐藤允彦(saifa)にてメルスジャズフェスティバル出演。アラキネマの音楽に参加したり、ミュージカルに曲を提供したり活動は多岐にわたる。前田憲男、市川秀男、鈴木和郎、嶋津健一、井上ゆかりらとのトリオや自己のバンド(B-HOT CREATIONS)を率いる。美しい音色と繊細さ、重厚なリズム。ジャンルを超えた多様な演奏スタイルは今や日本の音楽界に欠くことのできない存在。

